

新聞部 甲子園出場決定後すぐ 速報 850枚配布



▲優勝決定の直後に配布された、速報キマグレ



▲甲子園出場の速報を配布する新聞部員



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号



新聞部は決勝戦が行われた皇子山球場の付近にある県立スポーツ会館の2階の会議室に速報体制の本部を置き、速報新聞の制作を行つた。新聞部員は試合中にスコアラー、カメラ担当、記事作成者に分かれて作業を進めた。カメラ担当者は一塁側、三塁側、バッケネット裏の三手に分かれて選手の活躍を写真に收め、決定期間を収めた部員は随時本部へとデータを運搬した。記事作成者は予定稿に次々と運ばれてくる写真を当て込み、試合の展開を伺いながら調整を行つた。本校の優勝が決定した瞬間、印刷担当者は皇子山球場近辺の3軒のコンビニへと走り出し、完成した速報を印刷し、山球場で750部、彦根駅前で100部配布された。

会場で配布された速報を制

「赤鬼たちの活躍
Webでも見れます

「赤鬼の夏 再び」と題して新聞部が制作している速報新聞キマグレは本校ホームページでも公開されている。夏季休暇中も甲子園に出場する野球部に密着し、活動の様子を伝える速報の更新を続けるので、ぜひ赤鬼たちの活躍をチェックしてほしい。

7月26日に本校野球部が賀大会の決勝戦で近江高校に勝利し、甲子園出場を決めた。そしてその直後に、新聞部が皇子山球場と彦根駅前で野球部の甲子園出場を報じるキマグレを発行し、多くの人の手に渡った。

（3）は「試合と並行して制作したので大変だったが、完成度の高い新聞が作れてよかったです。反響が大きかったのでうれしかった」と笑顔を見せた。新聞部長の小杉菜々伽さん（2年）は「野球部の活躍を少しでも早く、多くの人に伝えることができるよう、新聞部一丸となって取り組んだ。自分たちが作った新聞を多くの人に手に取ってもらい、感謝の言葉をかけていただいてうれしかった」と微笑んだ。彦根駅前で配布を行つた久保寺智紀君（2年）は「駅前で号外を配ることは、入部したときからの憧れだったのでうれしかった。野球部の活躍をもうとたくさん的人に伝えていくたい」と意気込んだ。

作した部員の石和慧大君（1年）は「試合と並行して制作したので大変だったが、完成度の高い新聞が作れてよかったです。反響が大きかったのでうれしかった」と笑顔を見せた。新聞部長の小杉菜々伽さん（2年）は「野球部の活躍を少しでも早く、多くの人に伝えることができるよう、新聞部一丸となって取り組んだ。自分たちが作った新聞を多くの人に手に取ってもらい、感謝の言葉をかけていただいてうれしかった」と微笑んだ。彦根駅前で配布を行つた久保寺智紀君（2年）は「駅前で号外を配することは、入部したときからの憧れだったのでうれしかった。野球部の活躍をもうとたくさん的人に伝えていくたい」と意気込んだ。